

要求いっぱい
会員大募集!

新婦人しんぶんが元気のもと おしゃべり、行動、仲間ふやし…

群馬

「おしゃべりできる場 がほしい」と班を結成!

館林支部板倉班



おしゃべりが楽しい!(館林支部板倉班)

埼玉県と栃木県との県境に接し、豊富な水と緑に恵まれた県内多数の穀倉地帯の板倉町で、この6月、班を結成しました。

しんぶんタイム 班会でも小組でも

「小組でしんぶんタイムを5回やろう!」の県本部からのよびかけで、タイムがひろがっています。藤岡支部のお茶小組は、「わたしの選択」(7月19日号)を読みあいおしゃべり。OTC類似薬の記事では、「負担がすごく大きくなるってことね」とみんなが憤慨。「医療や介護が立ち行かなくなるなんて」「消費税を下げるのがいい。選挙が大事だね」と選挙タイムに。タイムを続けることで、「運動は苦手」と言っていた人も、参政党・神谷代表発言に抗議する緊急アクションに参加するなど、活動に積極的になっています。

沼田支部たんぼぼ班は、元会員を誘って班会を開催。お米の記事や選挙クイズでおしゃべりがはずみ、「学習は大事だね」とゲストが入会。班会でもタイムがひろがり仲間づくりの力になっています。

誘いたい人が いっぱい

7月集まりました。初めての人もいたので、まずは自己紹介。「体力づくりのため、フォークダンスを習っている」「私は絵手紙をやっている」「私は油絵を」など次々出され、すぐに打ち解けました。また、ある人が「戦争で空襲がひどくなつて東京から群馬まで歩いて疎開し、そのままこの中学で美術教師をしていた」と話すと、「私、先生に教わっていました」とうれい再会もありました。

その場で 7人が入会!

6月26日には、寺島さんの呼びかけに賛同した60〜80代の女性が、趣味や地域の運動

を通じて仲良くなった女性たちに「新婦人と一緒に楽しくおしゃべりませんか?」と次々声をかけました。

7月の2回目の班会は、各自でしんぶんを読み、気になる記事を持ち寄って話すことに。集まると、しんぶんだけでなく話したいことがたくさん。学校給食費無償化を求める県への署名や社協協の自治体懇談会への誘い、若いときの夫婦げんかのことにまで話が及び、大笑いするなどあつという間に時間がたちました。この日、みんなの共通する知り合いがまた一人加入し、会員は8人となりました。

寺島さんは、「念願の班ができ、大きな一歩を踏み出せました。まだまだ誘いたい人はいます。政治のことを話せる新婦人をもっと知らせたい」と話します。

〈月1回〉いま教室で 子どもたちは

公立小学校教諭 数内恵



学期末になると、どうしても気になる「通知表」。みなさんのご家庭では、どんなことを話題にしましたか。「よくできる」「できる」「もう少しがんばり」「一喜一憂してしまうのが親心です。」「なんでもいって」「もう少し」が付いているの?、わが家でやり取りしていた言葉です。そんなこと言われても、分らないとわが子。「自分のことですよ」と、余計な一言を言いたくなる。

「通知表」に担任からのコメントがなくなりつつあります。代わりに、夏休み中の面談などで「育ち」を伝える学校もあります。子どもにとって、何よりも大切な「育ち」ではないでしょうか。

「ちゃんと見てるよ」と言葉にして

今「通知表」に担任からのコメントがなくなりつつあります。代わりに、夏休み中の面談などで「育ち」を伝える学校もあります。子どもにとって、何よりも大切な「育ち」ではないでしょうか。

例えば、ある子は給食の時間に食器がこぼれちゃ机ふきを進んでしていました。またある子は、配布物をいつも一番に取りにきて、みんなに配って回るので、またある子は、発表で声の小さい友だちに近

「ちゃんと見てるよ」と言葉にして、内面の変容を感じ取る大人のまなざしが、子どもたちにとつてのエネルギーになります。子どもは「誰かにちゃんと見てもらっている」と感じて、次の一歩を踏み出せるのです。

ぜひ、「うまくできたことより、諦めなかったこと」を覚えているよ、「ちゃんとやっていたこと」を見ていたよ、など、「育ち」を見ているという言葉を子どもたちに届けてください。



お楽しみ会の名前とめあてを決めた模造紙

(今回は9月13日)

主張

参議院選挙を受けて臨時国会が召集された8月1日、東京・新宿では「デマと差別を許さない」とアピール街頭宣伝が大々的に行われました。この宣伝は、「デマと差別が蔓延する社会を許しません」とアピールを發表した各界12人の有志がよびかけられたもの。記者会見では「これはだめだ、差別だ」と愚直に言い続けたいといけません。一人からでも動きを草の根で広げることには希望がある(太田啓子弁護士)「デマと差別は人を殺します。過去の歴史を見てもそれは呪われた道への入り口(隠岐さ

や香東京大学教授)と訴え、オンライン賛同署名もスタートしました。全国知事会が「排他主義・排外主義を否定し、多文化共生社会を目指す」と宣言するなど、排外主義を許さない声と行動が広がっています。

差別と分断、排外主義を許さない社会を

衆参両院とも石破自公政権が少数党となったことで、デマで政治をゆがめ、シエンダー平等を敵視、差別・分断、排外主義をもちこむ参政党などの極右勢力が議席を伸ばし、「核兵器を保有すべき」「核共有は検討すべき」と主張していることも看過できません。新婦人は、参政党神谷代表の発言に抗議する緊急アクションを、47都道府県217カ所で行ってききました。

デマで政治をゆがめるな、差別と分断は許さないときらに声をあげるとともに、大軍拡ではなく暮らし優先、切実で様ざまな要求の実現を新しい国会に迫り、平和とシエンダー平等の実現に向け、仲間をむかえていきましよう。

スタートです。